

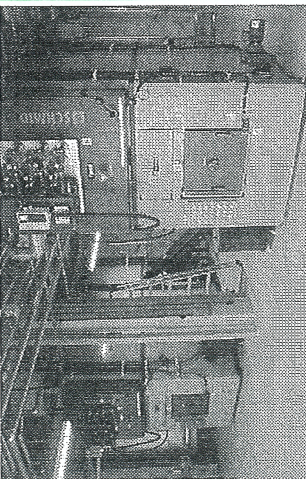
中型小型バイオボイラ販売で帯を抜く

制度を設けたメンテナンスが強み

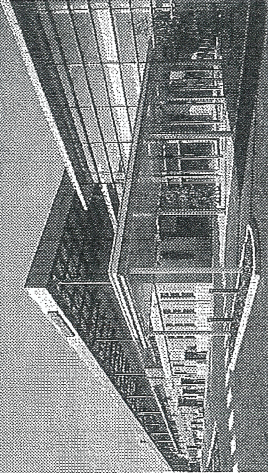
巴商会

巴商会(東京都、山崎純夫社長)は、「巴」を一貫して行う製鉄体のメーカーだ。なかでもメンテナンスは、同社の全国13事業所に対応するなど、定期保守管理契約制度を設け、専門の技術員が巡回サービスを行う体制を整えているのが強みといえる。

同社の中型・小型バイオボイラは、



下川町一橋ヴィレッジの地域熱供給のバイオボイラ



新工場(左)とサブプラント(右)の稼働を促進

能登半島地震発生もプラント正常稼働

万が一に備えた対策の提案、体制整備

1月1日能登半島地震が発生したが、タカム(兵庫県尼崎市、南條博昭社長)がこれまで北陸周辺地域に納入したプラントは、大

きな被害がなく正常に稼働している。同社は、従来からボイラプラントの計画・設計・建設において、耐震基準に沿うだけでなく洪水

浸水想定区域等かどうかなど立地条件に合わせた確認を行っている。また、顧客の要望に応じた配置条件を工夫するなど、万が一のための対策も提案している。

同社は23年度上期に木質バイオマス発電プラントを5件、下期に2件受注した。FITの制度改正で200kW級の小規模案件がニーズの中心だ。現在のFIT制度に関しては「地域活用要件」を満たさなければならぬ。地方自治体と協定を締結する動きが全国的に見られる。それにより、厚手力・火力発電所が被災しても、再生可能エネルギーの発電所が無事ならば電力の供給が続くからだ。特に木質バイオマスは天候に左右されないた

め有用性が高い。そのため、同社は小規模プラントの公共性が高まっているものと捉え、潜在需要を掘り起こしていく必要があると考えている。小規模プラントが多く数えられれば、地域への電力供給が滞る可能性が低くなるからだ。一方、環境安全の観点から化石燃料プラントを木質バイオマスプラントに改造・建て替える動きは続いており、そういった需要にも引き継ぎ対応している。今後は、これらの需要が同社受注案件の本柱になるだろう。

同社は1月、播磨工場(兵庫県高砂市)の旧工場跡地に建設していた製豆置き場・加工場が完成し、更新工事をすべて完了させた。新工場棟及びアフターサービス拠点「サブプラントラボ」は23年1月、ひと足先に稼働している。同施設は、同社が納入したプラントに不具合が発生した際に、迅速に修理を行うために必要な部品を在庫している。アフターサービスの迅速化を目的に設けた同施設は当然、災害時にも効果を発揮することになる。24年度の動きについて、同社担当者は「23年度にFIT制度委員が見込まれ、木質バイオマスをはじめ再生可能エネルギーを取り巻く環境が大きく変わることになるだろう。そういった過渡期に差し掛

かりながら、FITの採用や非化石燃料への転換など発注者のニーズの変化にはしっかりと応えていきたい。今後もこれまでの実績や培った技術に基づき、発注者にしっかりと提供していく」と述べた。

建設コンサルタン機能を発揮

山梨・南部町でCHPプラント

長大(東京都、野本昌弘社長)は、橋やトンネルなどの土木構造物、道路や鉄道、水道や電力などのライフライン、港湾や河川、学校や病院施設のほか、バイオマス関連事業を通してまちづくりや事業推進担当国内営業統轄部統轄部長)が、整備・運営する「南部町バイオマス発電所」を2021年6月から商業運転を開始。同発電所は小規模の木質バイオマス・ガス化熱電併給(CHP)プラントで、能力は、発電出力800kW、熱出力2000kW。これまでの平均発電出力は1000kWになっている。設備のCHPプラントは「フルフレキシブル」(タウドラフトオートレム、Qトイレス)を4基設置するサービスの提供を開始した。バイオマス関連事業は、子会社の南部町バイオマスエナジー(山梨県南巨摩郡、飯干貴久社長)・長大執行役員

1号機が稼働したことで、問い合わせが増え、南部町で2号機の計画があるほか、全国の他地域でも事業展開を計画中だ。

World Meets Energy - SMART ENERGY WEEK 2024 内

BIOMASS EXPO

第9回 国際バイオマス展

2024.2.28(水)~3.1(金)

@東京ビッグサイト

天谷秀夫
バイオガス
農プラ
バイオエナジー

木質バイオマスボイラ導入実績 No.1

株式会社 巴商会

巴ボイラ

創業明治43年
百有余年

神田で生まれて

木質バイオマスボイラ導入実績 No.1

株式会社 巴商会

環境・新エネルギー技術で、持続可能な社会づくりに貢献します。

Point

- 1 多種多様なバイオマスを使用可能 (未利用材、製材端材など)
- 2 長期安定稼働
- 3 幅広い発電規模に対応 (納入実績: 1,990kW ~ 74,950kW)

うち木質バイオマス発電ボイラ納入実績 80基以上

バイオマスプラント納入実績 630基以上

株式会社 長大

人争い技術グループ

本社 東京都中央区日本橋區東門前1丁目13番1号(03-3659-3301)

本社研修センター 東京都中央区日本橋區東門前1丁目13番1号(03-3659-3301)

ホームページ <https://www.takuma.co.jp/>

TAKUMA

バイオマス発電プラントメーカー 株式会社タクマ

■お問い合わせ先 株式会社タクマ エネルギー本部

(プラント1部) 東京都港区芝浦3-9-1(芝浦ルネササイトタワー)

(プラント2部) 兵庫県尼崎市金葉寺町2-2-33

(北海道支店) 北海道札幌市中央区大通5-11(大五ビル)

(九州支店) 福岡県福岡市中央区薬院1-1-1(薬院レジナスガーデン)

TEL 03-5730-9023 FAX 03-5730-9024

TEL 06-6483-2618 FAX 06-6483-2758

TEL 011-221-4108 FAX 011-241-0523

TEL 092-717-2828 FAX 092-717-2830

■取り扱った製品

ボイラプラント 特殊燃料・バイオマスボイラ、廃熱ボイラ、汎用ボイラ 産業廃棄物処理プラント 階間式ストーカ炉、ロータリーキルン&ストーカ炉

■ホームページ <https://www.takuma.co.jp/>